



第3回 アジア太平洋CBR会議

The Third Asia-Pacific Community-Based Rehabilitation (CBR) Congress



CBR AP Network

ご存知ですか？ 障害のある人も無い人も、高齢者も、何かに困っている人も、
みんなで作る、みんなのためのまちづくり = CBID*

日時：2015年 9月1日(火) ~ 9月3日(木)

場所：京王プラザホテル (新宿 東京)

テーマ：コミュニティベースのインクルーシブ開発(CBID)を通しての貧困削減と
持続可能な開発目標(SDGs)

参加費：3万円、学生 1万5千円、介助者 1万円

同時通訳・情報サービス付

◆当日参加受付あり【1日 1万円。プログラム(コピー)が付きます。なお、ランチ・
その他資料・レセプションは付きません。】

<http://www.apcbr2015.jp> 参加登録受付中

1日目(9/1) **インクルーシブネスと貧困削減**

2日目(9/2) **強靱なコミュニティ**

3日目(9/3) **持続的協調**

分科会は、トピック別に3会場で行われます。

「障害と高齢化社会」「障害インクルーシブビジネス」「障壁のない環境」「多様な障害(発達障害、精神障害など)」「ジェンダーとインクルーシブネス」「支援機器」「コミュニティの資源を動かす」「都市と農村の貧困」「つながりと災害のリスク軽減」「コミュニティにおける自助グループと障害当事者団体」「早期発見・早期療育」「官民連携」など、多彩なトピックを予定しています。

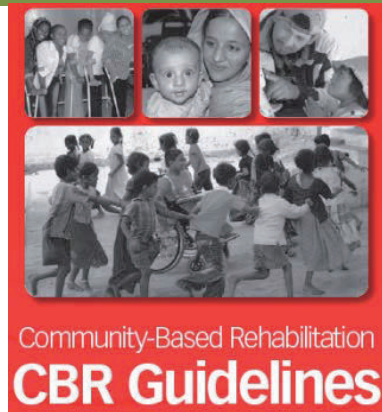
トピック等は予定で、今後変更の可能性もあります。

発展途上国で始められたCBR(地域に根ざしたりハビリテーション)という取り組みが、CBIDというコンセプトに進化して、様々な形で展開されています。アジア太平洋地域の各地で、そして、もちろん日本にも素敵な活動が沢山あります。

本会議では、日本を含むアジア太平洋地域で行われている、CBIDのコンセプトに基づいた多種多様な活動を紹介します。

これからの日本に訪れる、未曾有の超高齢化社会や社会的孤立の増加。日本で模索されている地域包括ケア・地域福祉・福祉のまちづくりなどに取り組む人たちにとって、珠玉のヒントが詰まっている筈です。是非、お越しく下さい！

* CBID: Community-based Inclusive Development



お申込み: ウェブサイト(<http://www.apcbr2015.jp>)で受付中

お問合せ: 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会内 第3回アジア太平洋CBR会議事務局
〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1 tel:03-5273-0601 fax:03-5273-1523

共催: CBRアジア太平洋ネットワーク、障害分野NGO連絡会(JANNET)、日本障害者リハビリテーション協会
協力: 世界保健機関(WHO)、アジア太平洋障害者センター(APCD)、国際協力機構(JICA)、日本障害フォーラム(JDF)、
国際協力NGOセンター(JANIC)、CBM、全国生活共同組合連合会、埼玉県民共済生活協同組合、
東京都民共済生活共同組合、日本財団他
後援: 国連広報センター他

